

ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」
 「土と人情」に囲まれた。ナナミ
 ちゃんの「私、土の子」奮闘記

01.22キキ
 太の目ヤニ
 を取る力カ

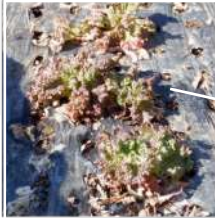


1 野菜が凍って!!



←01.26ビニールシートや保温シートをかぶせてあったが ↑水分の多いレタスにロメインレタス、凍って融けてを繰り返し、霜焼け状態でダメになった。

サニーレタスだけが残る



無事だったサニーレタスに霜除けを



←ナナミちゃんのお宿前、風が無い晴れた日は畝のシート類を開いて、野菜の点検と液肥を施す力カ。液肥が乾くまでシートを開け、病気の発生を抑える。



昨年の9月14日に苗植えしたサニーレタスとロメインレタスにレタス、今年の厳しい寒さでダメになった。今年の冬は雨降らず寒さが続き、露地野菜には厳し季節となりました。2月10日は雪も降り、この一週間の予報は降雪と最低温度はマイナス続きで-9℃の日も、「春分」が待ち遠しいです。

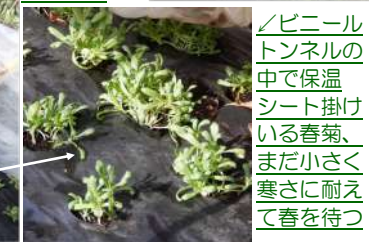


←レタス畝の隣はハウレン草に春菊が。

↑01.26昨年の10月3日苗植えしたブロッコリー、凍死した斑点状の葉が出始めた。



←昨年11月4日に種蒔きしたハウレン草、育って来た。



←ビニールトンネルの中で保温シート掛けいる春菊、まだ小さく寒さに耐えて春を待つ

2 二月のお味



←玄米を発芽させ↓炊き上がった玄米ご飯は色艶ヨシ!!



↑友達から分けてもらった玄米の銘柄「たきたて」は、モチモチとした食感がオイシイ。炊き上がりをラップで包み冷蔵保存、チンして食卓へ登場するのでオニギリ状に。

発芽玄米ご飯の登場!! 食卓に登場する回数が増えました。プチプチとした食感と甘味を感じ「良く噛む」食習慣が定着しそうです?



←発芽玄米ご飯に金目鯛の兜煮、昔菜と黒豆に炒り卵、白菜キムチ、具沢山の味噌汁。夕食も囲炉裏端ならなおさらオイシイ。

目次

1 野菜が凍って!!	1
2 二月のお味	1
3 カカト登場!!の雑誌	2

ハイライト

立春・次候2月8~12日「黄鶯睨睨うくいすなく」鶯色とは、緑に黒茶の混じった色のことをさす。これは鶯の背の色によっている。一年中いる鳥ではあるが、冬と春では鳴き声が異なり、よく知られている「ホーホケキョ」は春のもの。



「春告 01.20新材の上に座り周囲を見渡すハナ。」という別名はここからきている。「黄鶯」とは本来、中国や朝鮮半島で多く見られる高麗鶯のことで、日本では稀な種。「睨睨」は鳴き声の美しい様子を表す語で、全体では、ウグイスが美しく鳴き始めるという意味になる。「梅に鶯」明野では当分先の光景で、梅の開花は2月下旬でしょうか? 2月初旬と言えば、2月8日「こと八日」と呼ばれ、仕事を避けるべき日とされ、江戸時代から古い針や折れた針をコンニャクや豆腐に刺して針供養をした。「山梨県甲府市の稲積神社では、今年も和裁士などが参加して、針供養祭が行われた」NHKニュースより。

3 カカト登場の雑誌!!

↓母屋隣の手作りログハウス赤い屋根も黒に変わり、花畑のような庭の畑も様変わり、母屋だけは変わらず



↑①2008.01カカトと母屋が表紙に登場!! →母屋左側の木々は切り倒して、今は無くなっている。



↑②2009.08アメリカンな内容の雑誌。なぜか雑誌関係者が意気投合? OMソーラーシステムを掲載する。



↑④2014.01カカトの野菜作りや料理、ナナミちゃんのお宿が紹介されている



2008年1月発行「やっぱりOMの家」カカト表紙に登場した。振り返れば、あの日あの時あの表情。懐かしく良い思い出になっています。これも母屋とお宿を建てた(株)山口工務店とのつながり、信頼できる地元工務店のありがたさを感じています。これっ



てカカトのチョイス!!に狂いはなかったことに。

③2010.04ゆったりとした土間と薪ストーブ これこそ田舎暮らしの醍醐味? 吹きだし紹介文と写真掲載 ✓



←⑤2015.09紹介文「炎が燃え、野菜が煮えて、田舎暮らしのかたわらに いつも薪ストーブがある。」薪ストーブを中心に、野菜作りや料理、ナナミちゃんのお宿、移住後の知人も交えての懇談などを紹介。



↑⑥2014.06撮影はハケ岳に雪残る早春、木々の芽は硬く。紹介文には「自然と共に暮らす夫婦が辿り着いたOMソーラーのあるお宿」のとおり、お宿が紹介されている。



↑⑦2022.01撮影当日は雨、冬で野菜の種類も少なく撮影には苦労があった? 何とか雨も上がり、ぬかるんだ畑に入り撮影が無事に終わった。カカト年を経るごとに、事前準備や撮影など歳を感じるようになった・・・

